国府小学校だより
ウェルビーイング３

令和８年９月８日
発行 第６号
徳島市
国府小学校

◇２学期も、よろしくお願いします！





長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿と笑顔が学校中に帰ってきました。２学期は、子どもたちにとっても「実りの秋」です。修学旅行やバス遠足、秋祭りなどの楽しい行事もたくさんあります。だんだん季節もよくなってきます。**じっくりと友達と共に学習や様々な活動に取り組んでもらいたい**と思います。

保護者の皆様、２学期もよろしくお願いします！

◇台風や地震などの自然災害に備えて



２学期に入ってから天候が悪い日が続いています。９月３日に予定していた**避難訓練は９月１４日に延期**したところです。

夏休み中には千葉県や福井県等で大雨による大きな被害が出ましたが、いつ、徳島で、国府町で、同じようなことが起こっても不思議ではありません。国府町は地震による津波被害の心配はないであろうと言われていますが、鮎喰川や吉野川、以西用水に囲まれた国府町は、台風やゲリラ豪雨、線状降水帯の発生による集中的な大雨等で、いつ水害が発生するかわかりません。もしもの場合に備えて、ご家庭でもお子様と緊急時の対応、約束事などについて話し合う機会をつくっていただけたらと思います。



また、併せて、地震の時の対応についても、家族でしっかりと共通理解を図ってください。今年の夏も、熊本県で最大震度７の大きな地震が起こり、大きな被害が出ました。**「東南海・南海地震」**は、今まで１００年から１５０年に一度、必ず起こっています。一番最近に起こったのは８０年前だそうです。学校でも、避難訓練をはじめ、登下校時、授業中、休み時間中等、様々な場面を想定して、子どもたちの発達に応じ、災害発生時の対応や避難について繰り返し学習していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

９月７日の徳島新聞に、国府小学校に設置されている「避難用の救助袋」が使えない状態で放置されているという記事が掲載されました。保護者の皆様にはご心配をお掛けして、誠に申し訳ありません。

ご指摘を受けた救助袋は、南校舎３階西側の音楽室のベランダに設置されているもので、これまでの法定点検で不備が見つかり、改善を求められていました。このことについては、設置者である徳島市教育委員会と情報共有を図ってきました。修繕については、点検の度に市教委に要望を出している状況です。今回の東京都の小学校での火事を機に、**早急な改善が図られるよう、今後も徳島市教育委員会としっかりと連携して参ります。**

◇工事の進捗状況について



○児童玄関西側（学童前）にフェンスを設置

児童玄関西側はこれまで生け垣でしたが、長い歳月の中で枯れてしまった植栽が多く、歯抜け状態で見苦しい状況にありました。そこで今回、防犯の意味を兼ねアルミ製のフェンスに直しました。

毎朝、登校してきた多くの児童が、玄関が開くまでの間、フェンスの前のコンクリートの所をベンチ代わりに座り休憩しています。国府小学校の新たなおなじみの風景になりそうです。



○体育館の外壁と屋根の修復工事が始まりました。

夏休み初日より、体育館の外壁と屋根の修復工事が始まりました。昨年度の北校舎の外壁工事と同様、周囲がシートで覆われ、工事用フェンスや機材等が設置されています。体育館の中は使用できますが、工事期間は３月末までとなっています。何かとご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いします。

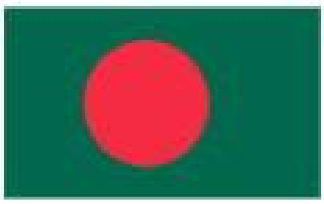
なお、体育館の床の張り替え工事は、予定どおり今年度の１１月から２月までの４カ月間となっています。



○家庭科室前の職員駐車場が完成しました。

家庭科室前の職員駐車場が完成し、２学期より職員が駐車をしています。

◇９月からバングラディシュの女の子が、国府小の仲間に加わりました！



２学期より国府小学校の４年生に、**バングラディシュ**の女の子が仲間に加わりました。日本滞在が長いようで、日本語も上手です。早く国府小学校に慣れて、楽しく学校生活を送ってほしいです。

国府小学校には、今年度の６月には、**ベトナム**から６年生の女の子が転入してきています。



また、昨年度途中と今年度の４月に分かれて、**中国**から姉と弟（６年女の子、３年男の子、１年男の子の３人）が転入してきています。



バングラディシュ、ベトナム、中国と、国府小は国際色豊かな学校になってきました。

普段、子どもたちには人権教育の授業の中などで、**「多様性（ダイバーシティ）の尊重」**ということについて、発達段階に応じた形で、各担任の先生が指導をしています。言語も文化も異なる友達と毎日接する中で、**お互いのことを理解しようと努め、よく知って、認め合い、**そして、**自分らしさを発揮することができる集団へ**と成長していってほしいなと願っています。